



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月6日

上場会社名 ユアサ・フナシヨク株式会社
 コード番号 8006 URL <https://www.yuasa-funashoku.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 共之
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 黒坂 幸夫
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 047-433-1212

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	54,835	1.4	533	△47.2	653	△43.0	462	△40.4
2019年3月期第2四半期	54,093	△0.3	1,009	12.7	1,145	14.8	775	17.1

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 315百万円 (△68.5%) 2019年3月期第2四半期 1,002百万円 (25.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	102.97	—
2019年3月期第2四半期	172.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	53,093	30,618	56.9	6,720.98
2019年3月期	54,312	30,753	55.9	6,751.07

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 30,204百万円 2019年3月期 30,340百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	100.00	100.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	1.3	1,600	△13.1	1,800	△13.7	1,200	2.7	267.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	4,897,723 株	2019年3月期	4,897,723 株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	403,611 株	2019年3月期	403,487 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	4,494,177 株	2019年3月期2Q	4,494,676 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
(1) 販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、企業業績や雇用環境の改善により緩やかな回復を続けましたが、米中貿易摩擦や日韓関係の悪化などの影響が懸念され、景気の先行きは不透明な状況にありました。

食品流通業界におきましては、個人消費が伸び悩むなか、消費者の低価格志向は継続しており、企業間競争は一段と厳しい状況が続きました。

ビジネスホテル業界におきましては、訪日外国人の増加基調に変化がみられましたが、国内の観光需要などもあ引き続き順調に推移しました。また、都心部においては競合するホテルの開業が相次ぐ状況が続きました。

このような状況のなかで、当社グループは引き続き、地域に密着した営業を展開するとともに、商事部門では物流の効率化、ホテル部門では客室のリニューアルなどを行ってまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比7億41百万円増加し548億35百万円（前年同期比1.4%増）となりましたが、販売競争の激化により主に販売費が増加したことに伴い、営業利益は5億33百万円（前年同期比47.2%減）、経常利益は6億53百万円（前年同期比43.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億62百万円（前年同期比40.4%減）となりました。

事業別セグメントの概況

① 商事部門

商事部門につきましては、一部商品において価格改定が行われるなか、長梅雨による天候不順の影響もあり、消費者の節約志向が継続し販売競争は一段と厳しいものとなりました。また、台風、大雨等の自然災害の影響を受けた地域もありました。

このようななかで、商品供給を的確に行うとともに、新規取引の獲得、新商材の提案などを積極的に行ってまいりました。

部門別の売上高は、食品では、引き続き加工食品、酒類が順調に推移したことにより増収となりました。また、酒類は本年10月の消費税増税を控えた駆け込み需要もありました。業務用商品では、小麦粉が販売数量の増加に加え、販売価格が上昇したこと、業務用食材などが順調に推移したことにより増収となりました。飼料畜産では、飼料は養豚、養鶏の生産者向けの販売が堅調に推移しましたが、畜産は成豚集荷頭数、食肉販売とも低調に推移したことにより減収となりました。米穀では、玄米販売が順調に推移しましたが、家庭用精米、業務用精米の販売が低調に推移したことにより減収となりました。

その結果、商事部門の売上高は524億9百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益は4億49百万円（前年同期比37.8%減）となりました。

② ホテル部門

ホテル部門につきましては、都心部においては、競合ホテルの新規出店に加え、民泊などホテル業以外の宿泊施設の利用が高まるなか、客室単価、稼働率の確保に努めました。また、2018年11月30日に新規オープンしたパールホテル新宿曙橋も順調に推移しました。

その結果、ホテル部門の売上高は23億19百万円（前年同期比12.5%増）、営業利益は4億39百万円（前年同期比4.7%増）となりました。

③ 不動産部門

不動産部門につきましては、前期8月まで計上したJR船橋駅前ビルの賃貸契約終了に伴う賃料相当額がなくなったことから、売上高は1億6百万円（前年同期比63.6%減）、営業利益は1億円（前年同期比60.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ12億19百万円減少し530億93百万円となりました。主な内容は現金及び預金の増加2億19百万円、受取手形及び売掛金の減少9億84百万円、原材料及び貯蔵品の減少2億75百万円、投資有価証券の減少2億29百万円などによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ10億83百万円減少し224億75百万円となりました。主な内容は支払手形及び買掛金の減少10億32百万円などによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億35百万円減少し306億18百万円となりました。主な内容はその他有価証券評価差額金の減少1億59百万円などによるものです。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは8億11百万円（前年同期比6億8百万円の収入減）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益6億53百万円、減価償却費2億68百万円、売上債権の増減額9億84百万円、仕入債務の増減額△10億32百万円などによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは△1億63百万円（前年同期比85百万円の支出減）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出△1億61百万円などによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは△4億24百万円（前年同期比8億27百万円の支出減）となりました。これは主に配当金の支払額△4億49百万円などによるものです。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物四半期末残高は前連結会計年度末から2億21百万円増加し77億71百万円（前年同期比13百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想の詳細については、本日（2019年11月6日）公表いたしました「2020年3月期 第2四半期連結業績予想と実績値との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,596	7,815
受取手形及び売掛金	14,212	13,228
商品及び製品	1,416	1,546
仕掛品	27	26
原材料及び貯蔵品	899	623
未収入金	3,682	3,639
その他	82	96
貸倒引当金	△17	△17
流動資産合計	27,899	26,958
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,246	13,286
減価償却累計額	△9,558	△9,716
建物及び構築物(純額)	3,688	3,570
機械装置及び運搬具	1,838	1,819
減価償却累計額	△1,492	△1,484
機械装置及び運搬具(純額)	346	335
土地	10,405	10,382
その他	1,571	1,643
減価償却累計額	△1,232	△1,235
その他(純額)	338	408
有形固定資産合計	14,778	14,697
無形固定資産		
ソフトウェア	30	88
その他	94	90
無形固定資産合計	125	178
投資その他の資産		
投資有価証券	8,709	8,480
長期貸付金	272	259
繰延税金資産	12	10
差入保証金	2,440	2,437
その他	208	286
貸倒引当金	△135	△216
投資その他の資産合計	11,508	11,258
固定資産合計	26,412	26,134
資産合計	54,312	53,093

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,411	16,379
短期借入金	2,208	2,306
未払法人税等	200	215
賞与引当金	70	71
ポイント引当金	11	13
その他	1,769	1,686
流動負債合計	21,671	20,672
固定負債		
社債	5	—
繰延税金負債	623	543
退職給付に係る負債	718	678
役員退職慰労引当金	6	6
長期未払金	27	26
環境対策引当金	12	12
その他	493	535
固定負債合計	1,886	1,802
負債合計	23,558	22,475
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,599	5,599
資本剰余金	5,588	5,588
利益剰余金	17,359	17,373
自己株式	△873	△874
株主資本合計	27,673	27,686
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,728	2,568
退職給付に係る調整累計額	△61	△50
その他の包括利益累計額合計	2,667	2,518
非支配株主持分	412	413
純資産合計	30,753	30,618
負債純資産合計	54,312	53,093

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	54,093	54,835
売上原価	48,027	48,737
売上総利益	6,066	6,097
販売費及び一般管理費	5,056	5,564
営業利益	1,009	533
営業外収益		
受取利息	9	8
受取配当金	92	97
その他	47	29
営業外収益合計	148	136
営業外費用		
支払利息	11	9
その他	1	7
営業外費用合計	12	16
経常利益	1,145	653
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1
固定資産売却益	—	5
特別利益合計	—	6
特別損失		
固定資産処分損	—	6
減損損失	0	—
環境対策費	10	—
特別損失合計	10	6
税金等調整前四半期純利益	1,134	653
法人税、住民税及び事業税	362	197
法人税等調整額	△4	△11
法人税等合計	358	186
四半期純利益	776	466
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	775	462

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	776	466
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	212	△161
退職給付に係る調整額	13	10
その他の包括利益合計	225	△150
四半期包括利益	1,002	315
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,000	313
非支配株主に係る四半期包括利益	1	2

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,134	653
減価償却費	249	268
減損損失	0	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	0	1
持分法による投資損益(△は益)	△20	△2
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△7	△24
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	0	0
長期未払金の増減額(△は減少)	△2	△0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9	80
受取利息及び受取配当金	△101	△106
支払利息	11	9
売上債権の増減額(△は増加)	△166	984
たな卸資産の増減額(△は増加)	379	145
その他の資産の増減額(△は増加)	△2	△51
仕入債務の増減額(△は減少)	95	△1,032
その他の負債の増減額(△は減少)	39	△73
その他	△9	51
小計	1,611	904
利息及び配当金の受取額	97	105
利息の支払額	△11	△9
法人税等の支払額	△277	△188
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,420	811
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△258	△161
投資有価証券の取得による支出	△3	△2
貸付金の回収による収入	12	12
その他	△1	△12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△249	△163
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△671	111
長期借入金の返済による支出	△47	△13
配当金の支払額	△449	△449
その他	△84	△73
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,252	△424
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△78	221
現金及び現金同等物の期首残高	7,836	7,549
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,757	7,771

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	商事部門	ホテル部門	不動産部門	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	51,739	2,061	292	54,093	—	54,093
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	17	0	26	44	△44	—
計	51,757	2,062	318	54,137	△44	54,093
セグメント利益	722	419	254	1,395	△386	1,009

(注) 1. セグメント利益の調整額△386百万円には、のれん償却額△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△386百万円、その他4百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・人事・経理・情報システム部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	商事部門	ホテル部門	不動産部門	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	52,409	2,319	106	54,835	—	54,835
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	18	0	26	45	△45	—
計	52,428	2,319	132	54,881	△45	54,835
セグメント利益	449	439	100	988	△455	533

(注) 1. セグメント利益の調整額△455百万円には、のれん償却額△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△456百万円、その他5百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・人事・経理・情報システム部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとののれんに関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

3. 補足情報

(1) 販売の状況

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)	前年同期比
食品（酒類・飲料含む）	34,572	35,297	102.1
業務用商品	7,620	7,749	101.7
米穀	3,821	3,784	99.0
飼料・畜産	5,724	5,578	97.4
商事部門計	51,739	52,409	101.3
ホテル部門	2,061	2,319	112.5
不動産部門	292	106	36.4
合計	54,093	54,835	101.4